

ふくしまファンクラブ

ふくしまの旬な情報が満載

Fukushima Fan Club



[特集]

江戸時代から 愛される 日本一のだるま市

[福島 NEWS]

金賞受賞数No.1の 日本酒

[ふくしま旬の逸品]

いわきとっくり芋



江戸時代から愛される 日本一のだるま市



開催時間は午前9時から午後7時半まで。交渉次第では、お目当てのだるまを安く手に入れられるかも

厳しい寒さも吹き飛ばす、白河に早春を告げる風物詩

厳寒まつただ中の2月11日。白河駅前の目抜き通りは、威勢のいい掛け声やだるまを買い求める大勢の人々で、大いにぎわいます。露店約700軒、来場者約15万人、店頭に並ぶだるまは約15万個と、白河だるま市は、名実ともに日本一のだるま市です。

白河だるま市の起源は、今から約230年前、当時の白河藩主・松平定信公が城下の産業振興を図り、お抱え絵師・谷文晁に白河だるまを作らせ、初市で売り出したのが始まりと言われていいます。顔全体が福々しく、縁起の良い「鶴亀松竹梅」を描いた白河だるまは、人気を博して初市の中心となり、白河だるま市と呼ばれるようになりました。

震災を機に広がる、 白河だるまの輪

白河だるま市は、震災後も以前と同様に開かれてきましたが、その一方で白河だるまをめぐる新たな動きが見られるようになりました。

「全国からたくさんの方の応援の声をいただきましたし、避難してきた双葉町の方と一緒に復興だるまを作るなど、人とのつながりが大きく広がりました」と語るのは佐川だるま製造所の佐川明子さん。

渡邊だるま総本舗の渡辺幸子さんは、「あちこちから復興だるま製作の依頼が届きました。斬新なデザインだったり、海外で紹介してもらったり、世界がぐんと広がりましたね」と話してくれました。

また、近年は町おこしにも白河だるまが活用されています。白河だるまをモチーフにしたご当地ヒーロー「タルライザー」や、だるま柄のバンズがかわいらしい「白河だるまパーカー」、兜姿が人気を呼んでいる「白河甲冑だるま」など、白河とだるまは切っても切り離せません。そして、この何度転んでも起き上がるだるまは、復興に向かう福島県の希望の象徴でもあるのです。

震災を機にさらに広がる白河だるまの輪。その輪を一層盛り立てる白河だるま市は、今冬もにぎやかに開催されます。厳しい寒さも忘れるほど熱気あふれる伝統行事・白河だるま市に、あなたも参加してみませんか？

行って
みよう!



白河だるま市

開催日
2月11日(木・祝) 建国記念の日
場所: 白河駅前(中町・本町・天神町)
時間: 午前9時~午後7時30分
白河まつり振興会(白河観光物産協会内)
☎ 0248-22-1147
http://shirakawa315.com

白河だるまとは？



- 眉毛は「鶴」
- 耳髭は「松」「梅」
- 髭は「亀」
- あご髭は「竹」

祈願だるまとしても知られ、願掛けの時は、だるまの左目(向かって右目)を入れ、願いが叶えば右目を入れます。特に祈願しない場合は、両目を入れて飾ります。



上: 白河市の新しい創作土産「白河甲冑だるま」
右: 白河市のご当地ヒーロー「タルライザー※」



※2008年に誕生したご当地ヒーローで、白河市の活性化を目的に活動している。

震災からよみがえった 白河小峰城

初代白河藩主・丹羽長重が完成させた白河小峰城。東北では珍しい総石垣造りの城で、「日本100名城」に数えられています。この城は、かつて戊辰戦争によって焼失してしまいました。現在の城は、1991年に往時の絵図に基づき忠実に再建されたもの。天守に相当する三重櫓には、戊辰戦争の激戦地となった稲荷山の杉が使われ、当時の弾痕がそのまま残っています。

東日本大震災では、石垣が大規模に崩壊し、立ち入り禁止となっていました。2015年4月から入城が再開されました。現在は、白河市の復興のシンボルとして、市民の憩いの場となっています。



1991年に木造で再建された現在の三重櫓。お城好きの間でも人気が高い

福島NEWS

第3回 金賞受賞数No.1の日本酒 (福島県)

取材担当 スズ

県内の注目情報を紹介する“福島NEWS”。
 全国新酒鑑評会^{※1}で3年連続金賞受賞数No.1に輝いた福島県の日本酒の魅力についてお話を伺いました。

※1 当該酒造年度に製造された清酒の出来映えを競う、現在唯一の全国規模で実施される鑑評会

ジャン!
3年連続 金賞受賞数 No.1

阿部さんに質問!
福島県の日本酒が金賞受賞数No.1で、今年はいくつの銘柄が受賞したんですか?
平成26酒造年度の新酒鑑評会には、福島県から39蔵元39銘柄が出品し、28銘柄が入賞しました。さらに、特に優れた清酒として、24銘柄が金賞に選ばれたんですよ!

その理由は、主に3つあります。
24銘柄も!? どうして福島県の日本酒の評価は高いんですか?
3つ目は、蔵元同士のつながりです。定期的に勉強会を開いたり、商品の批評し合ったり、酒づくりの研究を重ねています。また、福島県清酒アカデミーでは、若手を育成しています。卒業生は切磋琢磨して酒づくりに励んでいます。

どん
福島の気候は寒暖差が大きく、酒づくりに適した米が育ちます。地元農家と契約して、酒米づくりにこだわっているんです。

まずは水。福島県は名水の宝庫で、味の決め手となる上質の仕込み水に恵まれているんです。

水と米へのこだわりが決め手なんです。3つ目は何ですか?
水と米へのこだわりが決め手なんです。3つ目は何ですか?
3つ目は、蔵元同士のつながりです。定期的に勉強会を開いたり、商品の批評し合ったり、酒づくりの研究を重ねています。また、福島県清酒アカデミーでは、若手を育成しています。卒業生は切磋琢磨して酒づくりに励んでいます。

酒蔵をのぞいてみよう!
福島県は、蔵元の数が東北で最多。いくつかの蔵元では酒蔵見学が可能。実際に訪れてみては?

見学後は、試飲コーナーで、お好みの味を見つけてください。

へえ、でも、弱いですか? ...
そんな方には! 日本酒スイーツがおすすめ。ほんのりですが、日本酒の味を楽しめます。

福島の酒へのこだわりはすごいんですね。これからも応援しています。

目指すは4年連続日本一! これからもおいしい福島の酒をお届けします。

ふくしまの日本酒が買える福島県アンテナショップ

- 日本橋ふくしま館 MIDETTE**
 営 平日 11:00~20:00 土日祝日 11:00~18:00
 住 東京都中央区日本橋室町4-3-16 柳屋太平洋ビル1F
 交 ・東京メトロ銀座線・半蔵門線三越前駅 A8出口から徒歩3分
 ・JR神田駅東口・南口から徒歩5分
 ・JR新日本橋駅2番出口から徒歩1分
 問 03-6262-3977
- 福島県八重洲 観光交流館**
 営 11:00~19:00 (年末年始お休み)
 住 東京都中央区八重洲2-6-21 三徳八重洲ビル1F
 交 ・JR東京駅八重洲南口から徒歩3分
 ・東京メトロ銀座線橋本駅7番出口から徒歩3分
 問 03-3275-0855
- 福島県観光物産館 コラッセふくしま1F**
 営 10:00~19:00
 住 福島県福島市三河南町1-20 コラッセふくしま1F
 交 JR福島駅西口から徒歩3分
 問 024-525-4031



ふくしま 旬の逸品

偶然と研究の産物・酒徳利形のとろろ芋

いわきとっとり芋

いわき市平下神谷赤沼地区の伝統野菜「とっとり芋」。この地区では昔から山芋の栽培が盛んに行われてきましたが、今から約50年前、たまたま酒徳利のような形の芋が生まれたのが「とっとり芋」の始まりです。その後、地元の栽培農家が独自に改良を重ね、酒徳利形のまま量産に成功しました。今や冬に欠かせない、いわき市を代表する特産物となっています。

お買い物情報

JAIいわき市「新鮮やさい館」
 やがわせ 谷川瀬店

とっとり芋をはじめ、いわき産の新鮮な野菜・果物・加工品を購入できます。

営 9:30~17:00 (水曜日定休)
 住 福島県いわき市平谷川瀬字泉町62
 交 JRいわき駅から車で約10分
 問 0246-25-2207

いわきとっとり芋の
 おいしい食べ方

じねんじょ 自然薯と長芋の間ぐらいのほどよい粘り気を持ち、クセやアクのない淡白でほんのりとした甘味が特徴です。とろろや切り芋はもちろん、豚汁に入れたり、天ぷらやフライドポテトにしたりとさまざまな料理に合います。

ふるさと 味 だより AJIDAYORI

浜通り

ホッキめし

福島県沖は、栄養豊かなプランクトンで育った良質なホッキ貝が採れる日本有数の漁場です。「ホッキめし」は、しょうゆベースのだしで味付けした、貝の汁で米を炊き込んだ浜通りの郷土料理。家庭によっては、貝の身も一緒に炊き込みます。磯の香りと色鮮やかなホッキ貝が食欲をそそる一品です。

相馬市松川浦では、復興チャレンジグルメのメニューとして、提供している店もある。

相馬市松川浦観光復興グループ 問 0244-38-8808

いわき市漁業協同組合 問 0246-29-3565



色とりどりにライトアップされた大雪像と雪中祈願花火が夜空を美しく彩る



厄男衆がまく餅を、おんべの火で焼いて食べると1年中健康でいられるといわれている



神楽や早乙女踊りなどの伝統芸能の披露も行われる
雪のすべり台やスノーモービル体験など、子どもも楽しめるアトラクションが満載



第44回 只見ふるさとの雪まつり
開催日 2月13日(土)・14日(日)
場所: JR只見駅前広場

県内有数の豪雪地・只見町で行われる冬の一大イベント。メインの大雪像や町中に並び雪像が来場者を出迎えます。多彩な催しも盛りだくさん。県内で最も歴史ある雪まつりを見ようと、首都圏など遠方からも多くの方がかけつけます。

只見ふるさとの雪まつり実行委員会事務局
☎ 0241-82-5240

自然の宝庫・奥会津で触れる温かい絆



奥会津三島町 田舎暮らし体験ツアー

只見川沿いの豊かな自然に囲まれ、ゆるやかな時間が流れる三島町。雪国ならではの民具づくりや民俗行事といった地域資源が評価され、「日本で最も美しい村連合」に加盟しています。体験ツアーでは、田舎ならではの豊かさや人の温かさに触れてもらうため、地元住民と一緒に楽しく四季折々の体験コースを企画しています。

2016年 雪国体験コース内容

1日目 27日 2月27日(土)・28日(日) ※参加締切: 2月19日(金)

JR 会津若松駅 送迎バス 三島町 到着 輪かんじき づくり そば打ち 体験 交流会 宿泊

2日目 28日

輪かんじきでの 雪国ウォーク 昼食 送迎バス JR 会津若松駅 解散

田舎暮らし体験ツアーの
お問い合わせはこちら 三島町観光協会
☎ 0241-48-5000

県外のイベント

世田谷のポロ市 / 東京都 世田谷区1丁目ポロ市通りとその周辺
1月15日(金)・16日(土)

430年以上の歴史を有する伝統の古物市。700近くの露店が軒を連ね、数十万人が訪れます。会場では、福島・宮城・岩手の復興支援物産展も同時開催され、新鮮野菜や特産品を販売します。

せたがやコール ☎ 03-5432-3333
せたがやポロ市保存会
☎ 03-3429-1829(当日のみ)



東日本大震災風化防止イベント(仮) / 東京国際フォーラム 1月29日(金)・30日(土)

震災5年目の節目を前にあらためて被災地との絆を深めるイベントを開催します。当日はステージプログラムのほか、福島・宮城・岩手の3県の観光PRや県産品の販売を行います。

福島県広報課
☎ 024-521-7124



JOIN移住・交流&地域おこしフェア2016 / 東京ビッグサイト西2ホール 1月17日(日)

日本最大級の地域おこしイベント。今年は福島県をはじめ、全国から約400団体が出展。移住に関する最新情報を入手できるだけでなく、移住相談会にも参加可能です。また、各地方で活躍する「地域おこし協力隊」の申込受付も行います。
JOIN移住・交流&地域おこしフェア運営事務局
☎ 03-3510-6581



フラワーDream2016 / 東京ビッグサイト 東2・3ホール 2月6日(土)・7日(日)

国内最大級の花の祭典。花の持つ魅力や花文化の発展をテーマに開催されます。会場内では福島をはじめ、東北各地の花の名所や観光情報の紹介、特産品販売が行われる復興支援ブースも出展します。

一般社団法人JFTD ☎ 03-5496-0369
フラワーDream2016 検索



復興のかげやし

「福島県を応援したい!」という方におすすめの応援プロジェクトをご紹介します。



田んぼのパートナー制度 天栄村

「米・食味分析鑑定コンクール 国際大会」で8年連続金賞受賞を誇る天栄米。安全・安心でおいしい米づくりのための支援金を募っています。ご支援いただいた方には新米30kgをお送りします。実際に田んぼを訪れる交流会も行っています。

天栄米栽培研究会 ☎ 0248-82-2117
田んぼのパートナー制度 検索



雪おろし体験ボランティア 奥会津地方

高齢化が進む奥会津地方。住民の大きな負担となっているのが雪おろし作業です。雪おろしのボランティア活動や交流会を通して、奥会津の素敵な魅力に出会えることでしょう。

NPO法人ハートネットふくしま ☎ 024-954-7959
雪おろし 奥会津 検索



イベントレポート
Event Report

ふくしまの元気でつないだ 迫力満点のステージ!



クラブス

スパリゾートハワイアンズダンスチーム



会津若松市立第四中学校(合唱)

チームキビタン

FORCE ELEMENTS



会津若松市立湊中学校(ダンス)

べんぎんナッツ

石井敦子



グランドフィナーレの様子

Dear. FUKUSHIMA ふくしまへのメッセージ



西 芳照
サッカー日本代表帯同シェフ

福島は食材の宝庫。作る喜び・食べる喜びを伝えながら、地元農家の方と一緒に前に進んでいきたい。ぜひ福島に来てほしい。日本代表の応援もよろしくお願います。



中西永輔
元サッカー日本代表

福島の子どもたちは体を動かすことを心から楽しんでくれて、大きなやりがいを感じました。今後も、サッカーを通してスポーツの魅力、あきらめない気持ちを伝えていきたいです。

スペシャルトークショー 内堀雅雄 × 西 芳照 × 中西永輔

福島県知事 × サッカー日本代表 帯同シェフ × 元サッカー日本代表



福島県知事とゲストが語る恒例のステージには、南相馬市出身でサッカー日本代表帯同シェフの西芳照さんと、東北の被災地で子どもへのスポーツ支援を行う元サッカー日本代表中西永輔さんのお2人に、サッカー界からゲストとして登場していただきました。西さんは「食」、中西さんは「スポーツ」の観点で福島県の魅力を語り、内堀知事は、全国への御礼とチャレンジすることの大切さを述べ、県産農産物の安全性や「ヴィレッジ」の再開についても力強く語りました。

たくさんのご来場
ありがとうございました!



開催日: 10月17日(土)
会場: 東京国際フォーラム 展示ホール

10月17日(土)、福島の元氣と魅力を発信するイベント「ふくしま大交流フェア」が東京国際フォーラムで開催され、およそ1万人の来場者でにぎわいました。毎年一度1回、首都圏での福島県PRイベントとして定着してきた「ふくしま大交流フェア」も、今回は初めて秋の開催となりました。震災後に開催して5回目の節目となる今回のテーマは、「感謝」と「チャレンジ」。これまでの全国からの支援に感謝するとともに、新しい未来にチャレンジしていく姿をこのイベントを通して発信するという思いが込められています。ステージプログラムは、オープニングからフィナーレまで、ダンスや歌、ゆる

キャラ紹介など、次々と出演者が登場する迫力ある内容となりました。恒例のスパリゾートハワイアンズダンスチームによる特別公演には多くの観衆が見入り、ダンサーのFORCE ELEMENTSや歌手の石井敦子さんから若き実力者はその力を存分に発揮しました。また、会津若松市立湊中学校の子どもたちには、交流のあったEXILEのUSAさんからビデオレターが届くサプライズも。驚きながらも元氣よくダンスを踊りました。多くの福島県民が中心となって作り上げたステージ。来場者の皆さんの心にもきっと福島の元氣が届いたことでしょう。



入会で「温泉のフチ子」をプレゼントする企画も実施。

ブース1 ふくしまファンクラブ

ふくしまファンクラブブースにもたくさんの方が立ち寄ってくださいました。ご入会の皆様、ありがとうございました。



ブース2 南相馬観光協会



ブース3 福島県米消費拡大推進連絡会議

ブース4 すかがわ・石川地区めぐみの会



ブース5 奥会津deグリーン・ツーリズム

ブース6 南会津着地型観光推進協議会

ブース7 株式会社菊池製作所



ブース8 移住相談コーナー

ブース9 ふくしま観光復興支援センター

ブース10 福島県広報課

未来に ふくしま大 チャレンジ 交流フェス

2015年 **10月17日** 土
会場 東京国際フォーラム 展示ホール



会場内はまさに「ふくしま一色！」
およそ100団体が集結！
たくさんの来場者の方々にぎわいました

当日は朝から小雨が降るあいにくの天気にもかかわらず、多くの方が列をなし午前11時に開場。スタッフ・出展者のお出迎えを受けて入場しました。

会場内には、県内外のおよそ100団体のブースが立ち並び、人気のご当地グルメをはじめ、物産販売、観光PR、復興に関する展示、体験、移住相談等、幅広い内容で福島の魅力を紹介しました。



合計
18名様に

会員の皆さまへ日頃の感謝を贈ります 福島のおきプレゼント!

サッカー日本代表 帯同シェフ 西 芳照さん
元サッカー日本代表 中西 永輔さん

プレゼント
A

ふくしま大交流フェア出演記念
オリジナルサイン色紙 3名様



ふくしま大交流フェアのスペシャルトークショーゲストである西芳照さんと中西永輔さんから、サイン色紙をプレゼント。

☎ 024-521-7286
(福島県観光交流課)

白河菓匠 大黒屋 本店・新白河店(白河市)

銘菓しらかわ 5名様

プレゼント
B



明治40年の創業から100年以上、こだわりのお菓子を作り続けている大黒屋。ドイツ風クッキーに、ラム酒のクリームをサンドした「しらかわ」は子どもから大人まで大人気の一品です。



☎ 0248-22-5788

だるま最中

検索

福島りょうぜん漬本舗 本店(福島市)

福島県産エゴマ入りとうちゃん漬(1袋) 5名様

プレゼント
C



伝統の技法と知恵から生まれた体に優しい漬物を作っています。とうちゃん漬は、乳酸発酵させたきゅうりの古漬にニンニクをピリッと効かせ、エゴマと合わせた人気商品です。



☎ 024-586-2345

りょうぜん漬

検索

道の駅 会津柳津 観光物産館 清柳苑(柳津町)

オリジナル和風ドレッシングと
トマトドレッシングのセット 5名様

プレゼント
D



奥会津の観光情報や特産品の販売、赤べこの絵付けなどの各種体験を行っている「道の駅 会津柳津」からオリジナル商品 和風ドレッシングと、トマトドレッシングを2本セットでプレゼント。



☎ 0241-42-2324

道の駅 会津柳津

検索

応募方法

ハガキまたはメールに必要事項を記入の上、下記宛先までお送りください。抽選で素敵なプレゼントが当たります。

Eメール f.fanclub@pref.fukushima.lg.jp

960-8670

福島県観光交流課
「ふくしま
ファンクラブ
会報36号」
プレゼント係

- 1 本誌で気になったコーナー名と感想
- 2 ご希望のプレゼント
- 3 郵便番号
- 4 住所
- 5 氏名
- 6 電話番号
- 7 会員番号

会員の声

(会報35号より)

(只見ユネスコエコパーク特集を読んで)
毎年いとこ会で福島県周辺の観光・温泉旅行を楽しんでいます。
来年はぜひ只見町近郊を巡ってみたいと思います。(北海道 女性)

会報35号発行おめでとうございます。県外のイベント情報、とても参考になります。タイミングよく参加して交流を深めたいです。
(東京都 男性)

二本松市の伝統料理「ざくざく」。これからの季節、体に良さそうで、芯からあたたまりそうな料理に私も挑戦してみたいです。
(神奈川県 女性)

(お願い)インターネットをご利用いただける方は、メール会員への移行をご検討ください。 E-mail: f.fanclub@pref.fukushima.lg.jp

